

農福連携推進

北海道ブロックセミナー



主催 農林水産省 北海道農政事務所

日時 平成29年1月19日(木) 13:30 ~ 17:00 (受付 13:00)

会場 北海道自治労会館 4階大ホール

費用 無料

〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3
* 駐車場はございません。公共交通機関でお越し下さい。

目的 「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)において、農福連携の推進が位置づけられるなど、障がい者の就労訓練や雇用の場として農業分野に注目が集まっている。これを受けて、これまで以上に北海道の各地域において、農福連携の取組が自主的・自立的になされることを促進するため、本セミナーを開催する。

内容 1. 北海道農政事務所の取組から見えてきたこと 農林水産省 北海道農政事務所

2. 施策紹介 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課

3. 活動報告『はじめよう農福連携！～道央地域で広がる農業分野での障害者就労～』

よしひら たいき
報告者：酪農学園大学 教授 義平大樹 氏

4. 働く障害者からのビデオレター 撮影協力：指定就労継続支援事業所 ワークつかさ、合同会社 竹内農園

5. パネルディスカッション 『ここがタイヘン！農福連携』『農福連携への希望』

はまだ けんじ
コーディネーター：JA共済総合研究所 主任研究員 濱田健司 氏

パネリスト(第一部)：社会福祉法人 千歳いずみ学園 就労推進室やませみ 就労推進員 山本邦江 氏
やまもと くにえ
指定障がい福祉サービス事業所 やまびこ作業所 生活支援員兼事務長 市丸富男 氏
いちまる とみお

(第二部)：有限会社 浅野農場 総務部長 町屋裕二 氏
まちや ゆうじ

道内の高等養護学校から進路指導教諭1名 就農予定者 橋本理寛 氏
はしもと よしひろ

6. 効果的なPR手法の中間報告 報告者：(一財)地方自治体公民連携研究財団

酪農学園大学 教授 よしひら たいき 義平大樹 氏

【研究分野】

- 作物学 ムギ類(小麦、ライ麦)、マメ類(ダイズ)、トウモロコシ類(デントコーン、スイートコーン)の増収に関する栽培学的研究
- 江別市周辺における障害者の農業就労の促進

【略歴】

北海道大学大学院農学研究科修了、博士(農学)。現在、酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授。江別農福連携協議会 事務局。息子二人が、知的障害を併せ持つ自閉症を有していたことから、自らの研究分野と関連した活動の場を創るために、農福連携を開始する。協議会では、スタッフや予算の制約の中で、「身の丈に合った」活動への転換を検討している。

JA共済総合研究所 主任研究員 はまだ けんじ 濱田健司 氏

【研究分野】

- 農業分野における障害者就労、農と福祉にかかる研究
 - 介護の運営、経営等にかかる研究
 - 高齢者生活支援にかかる研究
- 【単著】
・「農の福祉力で地域が輝く 農福+α連携の新展開」(創森社、2016.11)
- 【略歴】
東京農業大学大学院修了。現在、JA共済総合研究所主任研究員/農林水産省 農林水産政策研究所客員研究員/「農」のある暮らしづくりアドバイザー。障がい者の就農に関する調査研究とそれを広めるための意識啓発、助言、講演などの活動を行う。人間と自然の多様性、そして「農」の福祉力や自然農を含めた農福連携に注目し、地域や人間関係まで包括した共生・共創の『農生業』を提唱している。

申込 FAX(別紙)にて

問い合わせ先 農林水産省 北海道農政事務所 企画調整室 ☎ 011-330-8801

ノウハウ

農林水産省

農業と福祉がつながって、日本を元気に！

